

「自動車钣金塗装技能競技大会」を開催

～目指せ山梨No.1～

山梨県自動車車体整備協同組合(市川清理事長)は、4月26日に笛吹市一宮町「(株)トーコー アルス山梨」において、組合主催による「第2回自動車钣金塗装技能競技大会」を開催した。

大会参加資格は、40歳以下の組合員企業の従業員もしくは若手経営者で、経験年数は問わない。競技内容は、钣金部門と塗装部門の2部門に分け、



それぞれ学科試験と実技試験が行われた。

昨年に引き続き2度目の開催となった今大会では、県内8社より11名の

選手が出場し、従業員家族や業界関係者など大勢のギャラリーの声援を受ける中、山梨県の自動車業界を担っていく若き钣金塗装職人達の熱き戦いが繰り広げられた。

同日の成績発表後の表彰式では、2部門とも上位3位までの表彰が行われた。

自動車のボディや各種パーツは軽量化や強度化のため、材料の変化や開発など急激に進歩しており、組合員も高度な技術を求められている。そのため钣金塗装業界は材料の変化による新工法といった技術を遅れることなく取り入れ、安心・安全に新車同様に仕上げる「匠の技」を磨く必要があるとしている。

今大会は、競技会以外に一人一人のレベルアップと確かな技術力のアピール、日頃の確かな知識

山梨県自動車車体整備協同組合



と正確な作業技術の確認の場としても開催され、組合青年部からも技術向上のため多数参加があった。

青年部では、独自で技術向上のための講習会以外にも、集客方法を高めるため経営研修会の開催やホームページやフェイスブックでの情報発信などにも取り組んでおり、組合員企業の経営力向上と組合活動の活性化に効果をあげていることから、若い原動力にかける組合の期待も大きい。